

# 令和5年度 第1回牛久市健康づくり推進協議会 議事録概要

日時：令和6年2月5日（月）午後1時30分～午後2時45分

場所：牛久市地域医療連携センター

出席者：委員：21名中11名出席

委員名	出欠	委員名	出欠	委員名	出欠
泉 憲治	欠	河村 智教	出	宮本 克樹	欠
山崎 陽介	欠	浅香 廣子	出	石井 隆太郎	出
橋場 成忠	出	井出 文彦	欠	磯山 和男	出
五十嵐 有希子	欠	吉田 敏子	出	岡見 清	出
永山 静子	出	石田 久美子	出	川村 始子	欠
岩井 浩一	出	加納 尚美	欠	望月 諭	出
佐藤 幸子	欠	渡部 功	欠	石川 次枝	欠

事務局：保健福祉部長 渡辺恭子、保健福祉部次長 石野尚生  
健康づくり推進課職員 飯泉麻由美・野口ちひろ・森まどか  
医療年金課職員 多田明紗美

## 協議会内容：

1. 開会の言葉（司会：飯泉課長補佐）
2. あいさつ（保健福祉部 渡辺部長）
3. 職員紹介
4. 議事録署名人の指名・・・吉田 敏子委員、永山 静子委員
5. 議事（議長：岩井浩一委員長）

### 【報告事項】

- ①牛久市の概況について（市民満足度調査結果含む）
- ②牛久市国民健康保険の医療及び健診の状況について
- ③健康づくり関連事業状況調査および事業実績報告

### 【委員からのご意見】

#### ①牛久市の概況について

《意見等》

男女とも平均寿命全国1位が「川崎市の麻生区」なのはどうしてなのか。男女とも1位というのは何かあるのではないかと。

《回答》

事務局：どのような健康づくりを行っているか今後情報収集しながら、今後の事業の参考にしていきたいと思います。

委員：公園や坂が多い上に、鉄道や路線バスが発達しているため、自家用車に頼らず、歩いたり運動したりする人が多く、健康診断や食生活に気を配る傾向が強いことなどが影響している可能性があるかと分析されている。

## ②牛久市国民健康保険の医療及び健診の状況について

---

### ▶ 《意見等》

議長（委員長）：牛久市は糖尿病の医療費が特に高い傾向であるが、令和4年度は茨城県の医療費よりは低く、少し改善傾向にあると思われる。しかし、緑内障は国・県・同規模市町村を大きく上回る傾向があり、引き続き、注視していく必要があると思う。

## ③健康づくり関連事業調査報告及び事業実績報告

---

### ▶ 《意見等》

市民満足度調査は市全体の調査結果となっているが、地域によって事情は異なるのではないかと。「地域のなかで異なる世代と交流がある」といってもそういう背景がみえないのが残念。また、牛久市国民健康保険の医療及び健診の状況報告の中で、緑内障やうつ病の受療率が増えているというデータがあったが、これらのデータを基に今後どのようなことを健康づくり事業として実施していこうと思っているのか。健康づくり推進課や教育部門、スポーツ推進課で同じような事業をやっているが、同じことをやるなら連携してできないのか？各課で個々に事業をするというのはもったいないので検討してほしい。

#### 《回答》

事務局：市の事業として、各部門でいろいろな目的を持って実施している。今後も各部局と連携をしながら、事業を推進していかなければならないと思っている。まずは、どのような対象者の方に、どのようなことを目的に事業を実施するか、ということを確認にして、各部局で今後も健康づくり事業を進めていきたい。

事務局：健康づくり事業に関しては、医療年金課で介護予防事業と保健事業の一体的な事業を、令和3年度から進めている。現在、6小学校地区ごとに進めており、来年度は、8小学校地区の全地区に広げる予定。地区ごとの医療費の状況や病気の特徴については、各地区に出向いた際に説明している。各部局との連携については、スポーツ推進課、生涯学習課、教育部門と保健福祉部の担当課において連携を図っている状況である。

### ▶ 《意見等》

今回の実績報告は、事業数は61で、評価した項目は68になっている。例えば、事業21は、1事業で評価を3つにしているが、事業35や45は複数の項目を1つにまとめて評価している。今後は、事業の中でこの部分を推進していきたいという部分を明確にして、評価をしてはどうか。

#### 《回答》

事務局：実績評価では1つの事業で評価指標が異なっている項目について見直している。そのため細分化して評価している事業とまとめて評価している事業がある。評価指標を明確化して、今後も修正をしながら、ご提示させていただきます。

### ▶ 《意見等》

適正受診の推奨のところで必要な時に速やかに受診勧奨するという説明があったが、医師の働き方改革が4月から始まり、医師の時間外労働が規制される。現在、救急体制をどうするか各病院で話し合いがされており、今後、医療機関の診療時間外の受け入れに関しては影響が出てくる可能性がある。市町村を通じて、時間内の適正受診や救急車の適正利用などを市民へ伝えていただき、地域医療を守ることが牛久市民の健康につながっていくと思う。

#### 《回答》

議長（委員長）：産科や小児科も更に厳しくなっていくと思われる。次回の健康プランには、適正受診についての項目を盛り込むか、検討する必要がある。

歯科の評価がCやDしかないのが気になりますが、今後注視していきたいと思います。